

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内) 電話03 (3563) 6744 URL:http://www1.ocn.ne.jp/cru

新年挨拶



道建労協加盟単組の皆様、あけましておめでとうございます。年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、新潟県中越地震をはじめとする自然災害が全国各地で多発し、また、年末にはスマトラ島沖地震で多くの尊い命が犠牲になった波乱の年でした。一方で、アテネオリンピックでの日本人選手の活躍や、プロ野球選手会によるストライキ、また野球界への50年ぶりの新規参入等、挑戦への活力を与えてもらった一年であったと思います。



今年、道建労協設立20周年を迎えます。今こうして活動できるのはまさに、諸先輩方が設立から今日に至るまで、その時々々の社会の状況を的確につかみ、流れに即した活動を行ない築き上げてこられた足跡があるからに他なりません。

これまでの20年を基本とし、もの作りのすばらしさを実感できる環境づくりと次世代に継承できる組織づくりを目指して次の10年に向け積極的に活動していきたいと思えます。

今年も道建労協は、「道路建設産業の魅力化」に向け、情報提供と人的交流を基本とし地道で着実な活動を展開していく所存ですので、今年一年さらなるご協力とご支援を御願ひ致します。

最後になりますが、本年が道建労協加盟単組の皆様にとって、すばらしい一年となりますよう祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

(議長 松 雅彦 NIPPO労働組合)

労使セミナー開催



1月20日、都内において第20回労使セミナーが開催された。今回は、「労働時間管理」を題材に、行政官庁である東京労働局と労働弁護団に所属する弁護士という異なる立場から講師を迎えた2部構成のセミナーであり、行政指導の最近の動向や建設産業への多様な労働時間法制導入の可能性を探る内容に、例年を上回る約70名が参加した。

労働時間管理については、多様な働き方を導入して選択肢を増やす試みや労働と生活の時間を調和させていくという新たな視点による論点が提起されていることもあり、休日の取得増加へ向けての意識改革や現行法制の有効な活用について提言が行われた。コスト面のみならず、社会的潮流として長時間労働の体質改善を図るために、労使による話し合いが今後ますます重要性を増してくると考えられることから、参加者からも数多くの質問が寄せられ、盛会のうちに終了した。

「寿命」

フリーウェイ

非常にグルメに凝っている私の親戚のおばちゃん、飼っている犬にもシヨート・ケーキなどを与えるものだから、「体によくないんじゃないですか？」と申し上げると、「犬は、どんなに頑張っても10年ちょっとしか生きられない短い一生なのだから、せめて美味しいものを食べさせてやる」とおっしゃる。

確かに、犬の成長スピードは人間の何倍も速くて、10年ちよっとの寿命というのは、かなり短かすぎる気がする。

ところが、寿命の長い動物も短い動物も、一生を全うして死ぬときの一生分の時間に対する感覚というのは、ほとんど同じなのだそう。寿命の短いハムスターなどは、短い時間の中でしゃかりきになって動いているから、3年くらいでちよっとということだ。逆に、動きののろい亀などは、その分たつぱりと時間が与えられている。従って、一生を終えるときの充実度はほとんど差がないのだそう。

人間はどうだろう。人間の場合は、それぞれに生き方が違うから、一生分の時間に対する思いも十人十色というところだろうか。でも、同じだけ生きてきて、いざ死ぬときに「ああ、もう十分生きた」と思うのと、「時間が足りない、もっと生きたい」と思うのと、どっちが幸せなのだろう？

大成口テック社員組合 高橋忠史



地協のない地域の交流会



中国地区

中国地区の交流会は、12月16日広島市内において、大成社組、東亜労組、NIPPO労組、前田労組、三井住建労組の5単組より、11名の出席を得て開催されました。(当日欠席2名)

4年ぶりの開催であり、集まった面々はほとんど初対面でありましたが、すぐに意見交換も熱気が入り、労働時間の実態や、各企業の制度運用の状況など広い項目で質問が飛び交いました。

参加して一番印象に残った事は、ここ数年各社において給与制度を始めとして様々な制度改定が行われていますが、同じ制度でもそれぞれの企業に適するよう工夫されていること、そこに労働組合が大きく関与していることでした。新制度の運用には試行錯誤の一面もあり、単組内だけでなく幅広く意見交換できたことは、今後の単組支部の活動にも有益に資すると思います。

他単組の参加者からも、次回の開催を望む意見を頂き幹事としての責任を果たせたかなと胸をなでおろしています。

中国地区交流会 幹事 田中康輔 (前田道路労働組合)



四国地区



12月9日に香川県で、四国地区の交流会を開催致しました。

議題は、「労働時間の実態」について、各単組の取り組みとしては、事務所の閉鎖時間を設定する、モデル事務所を設定する、土曜日に組合活動としてレクリエーションを行うなどの工夫をしていることがあげられました。

しかしながら、労働時間の短縮が、運動として提唱されているものの、なかなか進んでいないのが実態であり、土曜日も休めていないのが四国地区の実情でした。よって、今回の四国地区交流会において、各単組の方々と議論により、時短に対する認識が深まる第一歩につながってほしいと感じました。

最後に、今回の四国地区交流会の開催にあたり、道建労協の本部の方々や四国地区の各単組の方々のご協力のもとに、有意義な四国地区交流会が開催できましたことを心よりお礼申し上げます。

四国地区交流会 幹事 林 浩史 (大林道路職員組合)



九州地区

年末も近づくと11月26日に、東京第一ホテル福岡にて九州地区の地域交流会が開催されました。

忙しいなかにもかかわらず、各社多数の方が参加され、活発な意見が交わされました。

松議長の開会挨拶に引き続き、道路建設業界で特に問題となっている労働時間の実態が議事の中心となり、他に各社が問題としていること等を他社と情報交換するという形で進められました。

労働時間については、現業部門においてはまだまだ土曜日の出勤は当たり前という感じであり、労働時間の適正把握についても難しいという意見が多く出されました。

全体的には、受注量の減少に伴う人員削減の影響を受け、総労働時間の削減には至っていないというのが現状でありました。

他にはISOの取組状況、成果主義導入による給与形態の変化と評価について等の意見交換が行われ、短い時間のなかではありましたが、大変有意義な交流会となりました。

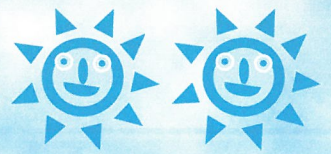
その後の懇親会でも和やかな雰囲気の中で会は盛り上がり、今後も継続して開催されることを本部へ申し入れ、閉会となりました。



九州地区交流会 幹事 竹尾浩二 (NIPPO労働組合)



地協定期総会



北海道地協

北海道地協第14回定期総会が、平成16年10月22日（金）ホテルライフオー
ト札幌において、加盟7単組の代議員およそ40名の出席と本部より湯浅副議長に
参加いただき開催しました。

大会成立宣言および開会宣言に始まり、議事がすみやかに進行しました。以後式次第に従い、
年間活動報告、収支決算報告が行われ承認を頂きました。

又、今大会で本多委員長（前田道路労組）が退任され、新たに昆委員長（東亜道路労組）が
新任を受け、今年度の地協役員案、新年度活動案、予算案が満場一致で承認を頂き、定期大会
は滞りなく終了いたしました。

大会後は、会場を移し懇親会を行い、くつろいだ雰囲気の中、和やかな楽しい懇親会となり
ました。

北海道地協として、今年度2回のレクリエーションにより、全体の単組間の交流を深め、コ
ミュニケーション作りを図り、より多くの方が参加できるような地協を目指したいと思ひます。



北海道地協 事務局長 森川隆之（NIPPO労働組合）

関東地協



去る2004年9月29日（水）、東亜道路工業株式
会社本社3F会議室において、道建労協関東地協第
15回定期総会が開催されました。当日は雨天で足
下が悪いにもかかわらず、例年どおり約30名の方が参加されました。また、本部から
は松議長にお出で頂き、ご祝辞を賜りました。

2003年度の活動は停滞気味でしたが、各単組共直接・間接的に人員の削減がなされている
ことが大きな苦因だと考えられます。このような単組での活動も厳しい現状を踏まえて、
2004年度は活動を効率化するため、定期総会とレクリエーション活動の同日開催を予定して
おります。

最後になりましたが、道建労協本部、また各単組の構成員の皆様には、より一層の地協活動
への協力をお願い申し上げます。

関東地協 事務局長 岩淵 哲（NIPPO労働組合）



中部地協

平成16年9月16日（木）、大有建設㈱会議室において、節目となる第15回定期総会
が開催されましたのでご報告いたします。

千原前中部地協議長挨拶には始まり第15期の一般活動報告、会計報告、第16期の
活動方針、予算案、役員の変更のいずれも満場一致で可決され、新議長に大林道路職員組合の
尾崎吉明さん、副議長には大成ロテック社員組合の栗本直樹さんが就任されました。

先期の中部地協の活動については、各種行事の規模縮小の懸念もありましたが、加盟各単組
のご協力を頂きながら例年同様の活動を行えたのではないかと考えております。

今期におきましても、春の潮干狩り・夏のポーリング・冬のクリスマスパーティーと年2回
の機関紙の発行を柱として、同じ中部の地で活動されている建設連合愛知さんと協力をしなが
ら様々な活動を行っていきたくと考えております。

中部地協の皆様にはますます積極的に参加をいただけることをお願いするとともに、また
本部の皆様にもいろいろとお世話になりますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

中部地協 事務局長 小嵐 剛（全大有労働組合）



関西地協



道建労協関西地協定期総会は平成16年9月17日
（金）エルおおさか（大阪府立労働センター）5F研
修センターにおいて、来賓に道建労協 松議長を迎え開催された。

当日は役員・代議員30名が参集し、第14期一般活動報告、一般会計報告、一般会計監査報
告が審議され満場一致で承認された。また、第15期役員（案）が審議され新任三原議長（前
田道路労組）をはじめ16名が承認された。引き続き、第15期活動方針案、予算案が審議され、
活動方針案は「同じ地域に職場を持つ単組がその単組の枠を乗り越え、組合員の相互交流や地域
固有の課題について意見交換など幅広い活動を目指す。」を基調の説明があり、予算案とも満場
一致で承認された。

関西地協は三原新議長を中心に幅広い活動を目指し、決意を新たに力強い一歩を踏み出した。
今大会をもって退任された乾議長（NIPPO労組）はじめ役員の方々2年間お疲れ様でした。

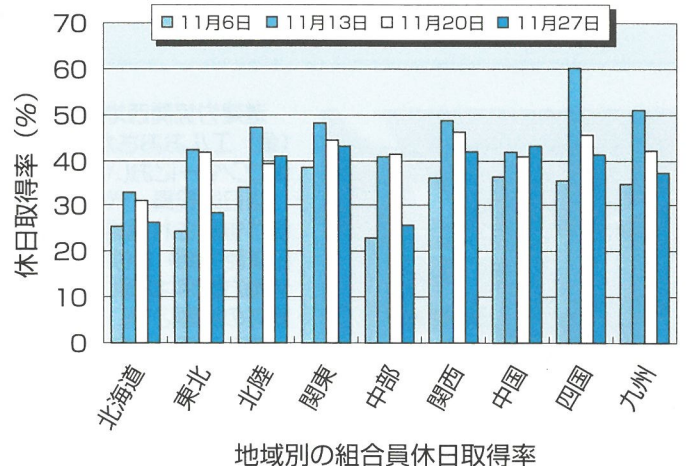
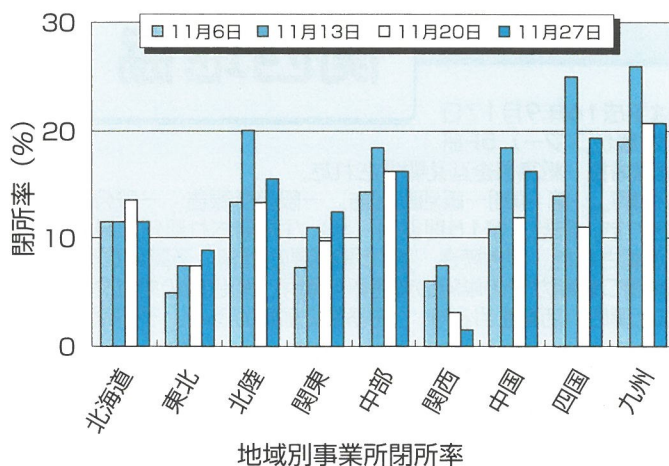
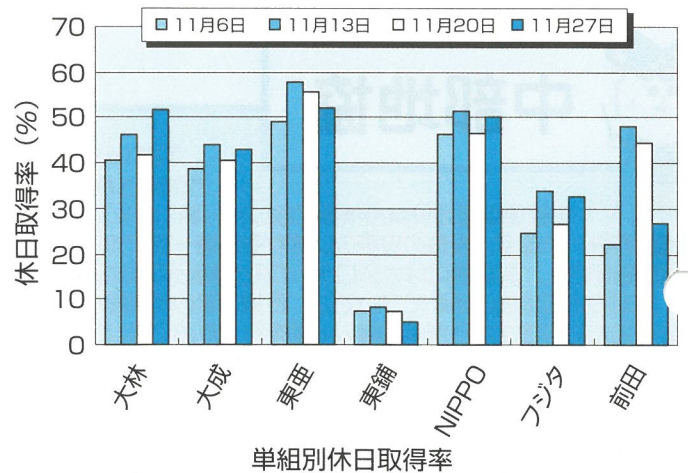
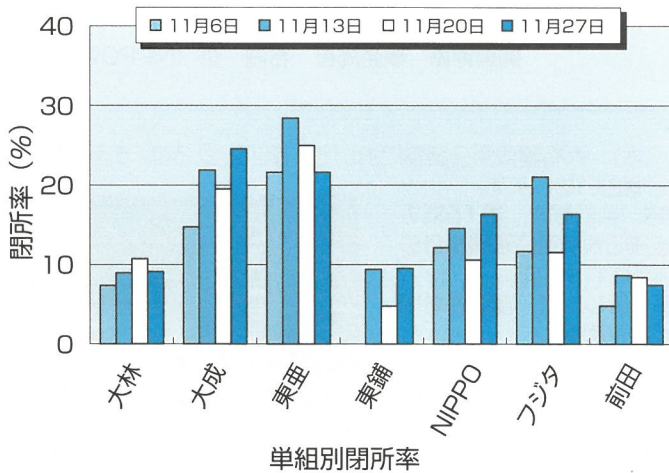
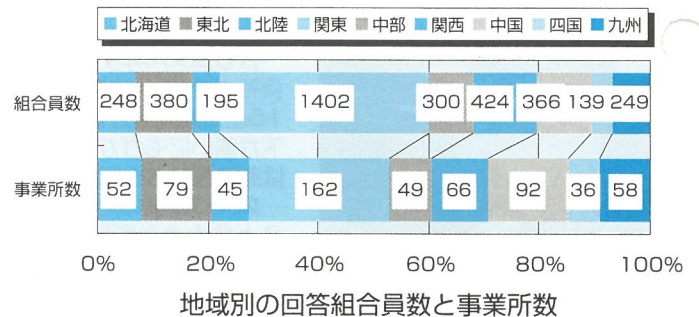
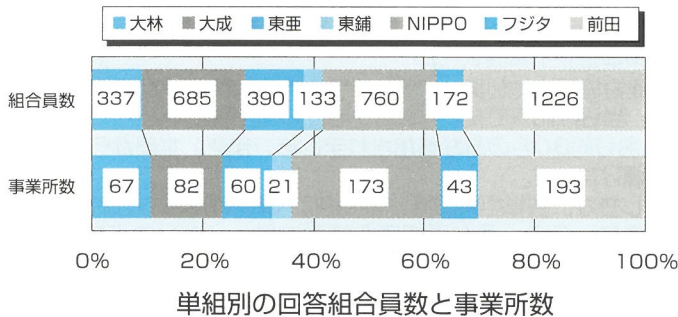
関西地協 事務局長 井本崇雄（前田道路労働組合）

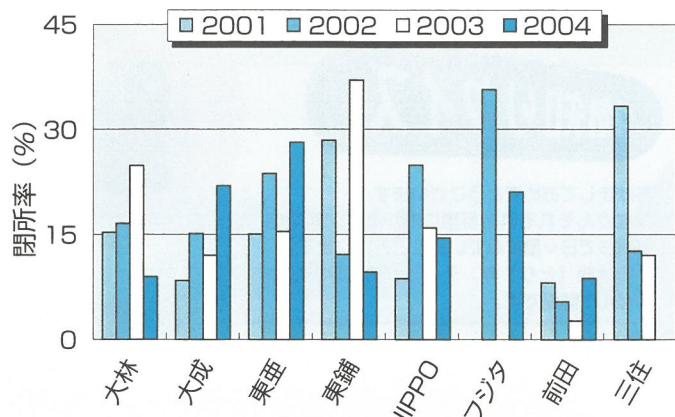
土曜閉所推進運動アンケート結果(2004年11月)

道建労協では、建設産労懇（建設産業労働組合懇話会）の仲間とともに、毎年6月と11月を事業所の土曜閉所推進運動の強調月間と位置付けながら、総労働時間短縮に向けた運動を展開しております。この運動の一環として、2004年11月も『オフの充実、オンへの活力。土曜閉所推進。』という標語が記載されたポスターを道建労協加盟単組の各事業所に配布すると共に、道建労協に加盟する組合の企業側や関係団体等に要請書を提出し、ご協力して頂くようお願いしました。

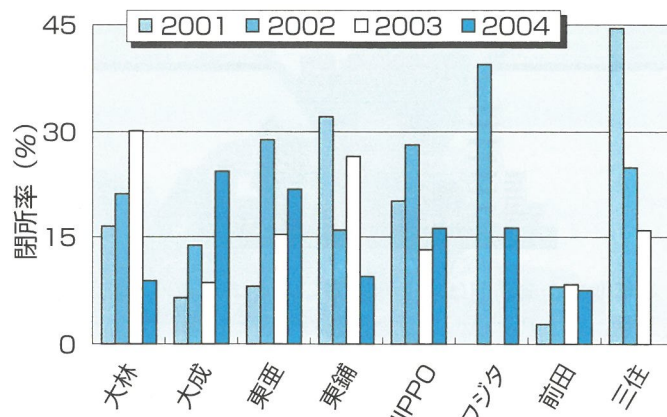
これら取組みの結果を調査するため、2004年11月に全事業所を対象にアンケート調査を実施しましたので、その結果につきまして以下に報告させていただきます。

なお、業務多忙の中、本アンケートに協力頂きました組合員のみなさんにお礼申し上げます。

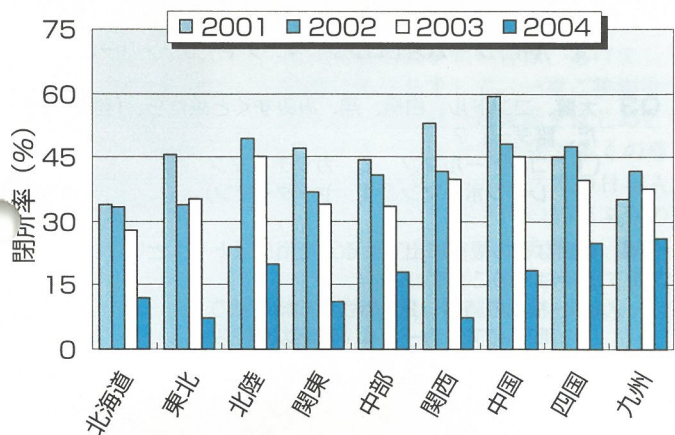




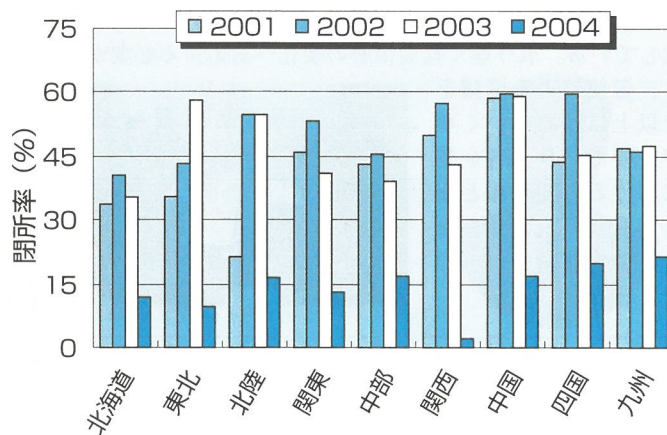
過去4年の単組別閉所率（第2週）



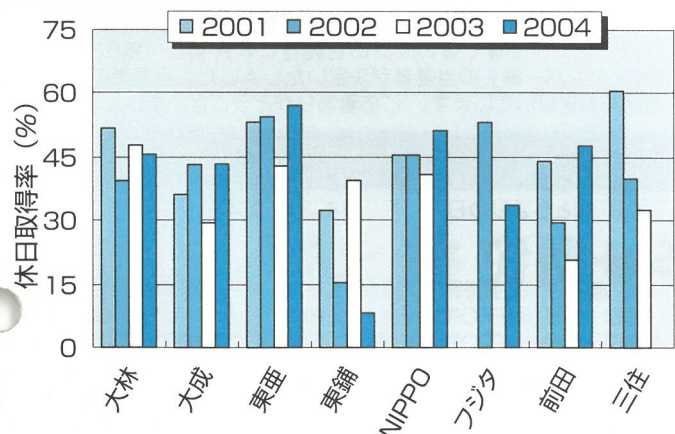
過去4年の単組別閉所率（第4週）



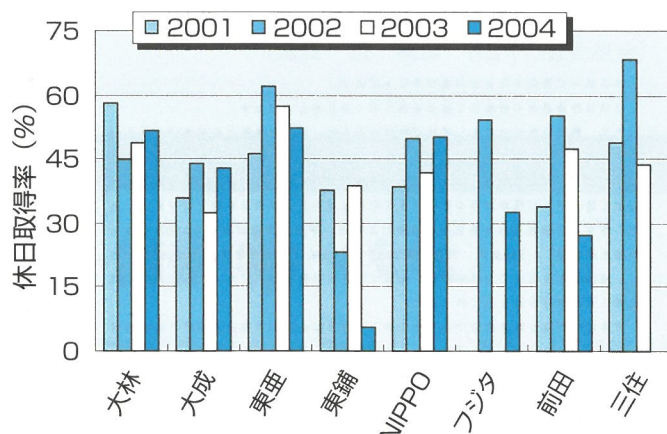
過去4年の地域別閉所率（第2週）



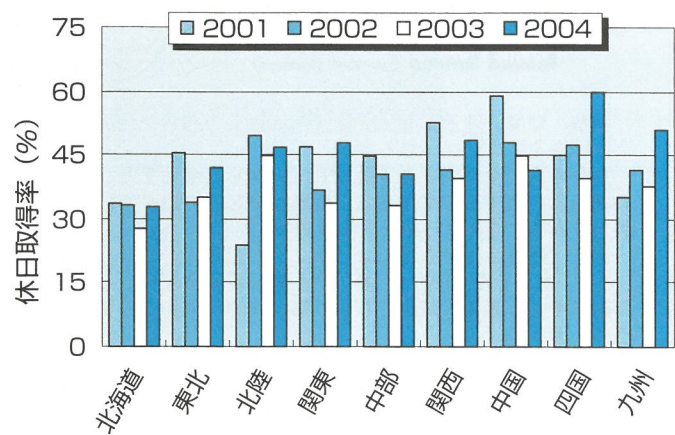
過去4年の地域別閉所率（第4週）



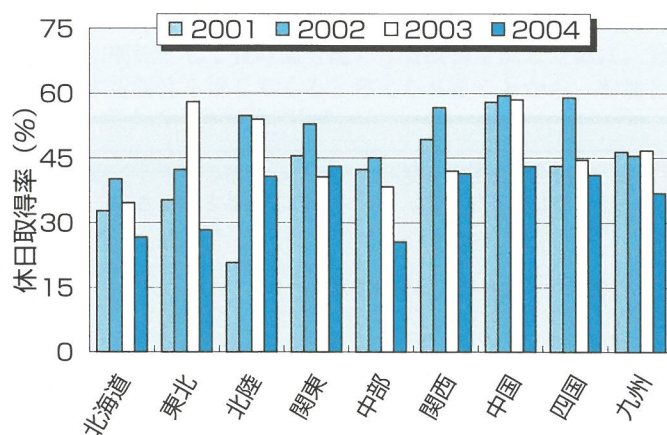
過去4年間の単組別休日取得率（第2週）



過去4年間の単組別休日取得率（第4週）



過去4年の地域別休日取得率（第2週）



過去4年の地域別休日取得率（第4週）



企業訪問

本年度の企業訪問は、大林道路、大成ロテック、東京舗装工業、NIPPO、フジタ道路の5企業において実現した。11月の土曜閉所強調月間への協力依頼の他、今回は「労働時間の適正把握」について各企業における労使一体となった推進の要請を行った。

道建労協は、総労働時間の短縮として土曜閉所に取り組んでいるが、単なる労働条件向上の一つではなく、道路建設産業の産業像を描く上でも重要度を増しているものと認識している。取り巻く社会情勢の変化へ対応する必要からも、労使による協議を今以上に深めていく事が重要であり、各企業における労使一体となった取り組みのさらなる推進を要請したものである。



2004年10月26日

労働時間の適正把握推進に関する要請書

道建労協 加盟単組企業
代表取締役 殿

道路建設産業労働組合協議会
議長 松 雅 彦

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は弊協議会の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、標榜の件につきましてはご存知のように、厚生労働省より平成13年からわずか2年の間に3つの通達が出されるなど、労働時間管理に対する指導が強化されてきております。労働組合に対しても使用者側と一体となって、労働時間管理の適正化と賃金不払い残業解消のために主体的に取り組むことが求められております。また、今9月に発表された是正指導結果によると、平成16年度における100万円以上の是正指導は、1,184企業、労働者数195千人、支払われた割増賃金は239億円に達し、過去2年を大きく上回る件数、金額であり次年度においても、さらに対策を強化する方針が打ち出されております。
市場縮小が進む建設産業ではありますが、一方で企業の社会的責任が声高に叫ばれており、労働時間の適正把握による労働環境の改善が急務となっております。貴社に置かれましても「労働時間管理委員会」等で取り組みを強化されている事と推察いたしますが、構造的に長時間労働になりやすい建設産業においては、それぞれの企業風土の改善をはじめとする根本的な対策が必要であると考えます。
当協議会では、時短が建設産業の魅力化に資するとの考えから土曜閉所運動を推進し協力をお願いしておりますが、労働時間の適正把握につきましても同様に、建設産業の魅力化に資するものと考えております。
つきましては、現状の認識を労使で共有し、より一層の労使一体となった根本的対策の立案、推進をお願い申し上げます。次第です。

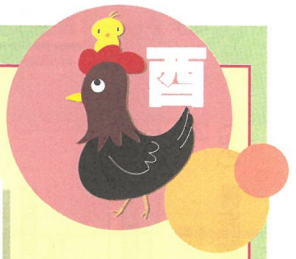
以 上

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答
- 賞品送り先住所・氏名および所属単組名
- 締め切り 3/4 (金)
- 今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 NIPPO労働組合内 道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛 FAX 03-3535-4810
URL <http://www1.ocn.ne.jp/cru>

※次号は6月発行の予定です。

物知りクイズ



あけましておめでとうございます。
みなさんそれぞれの目標に向かって、新たな気持ちで日々励まれていることと思います。
今年は酉(とり)年。そこで、今回はトリにちなんだ問題です。

- Q1** 酉という漢字はある物の象形文字だそうですが、一体どんな物でしょう？
(1. 鳥居 2. 酒壺 3. にわとり 4. 熊手)
- Q2** 「バード」と呼ばれ、その生き様が映画にまでなったジャズミュージシャンは誰？
(1. マイルス・デイビス 2. ジョン・コルトレン 3. ルイ・アームストロング 4. チャーリー・パーカー)
- Q3** 大鷲、コンドル、白鳥、燕、みみずくと来たら、「誰だ、誰だ、誰ダ〜」？
(1. コンドルマン 2. ガッチャマン 3. レインボーマン 4. ヤッターマン)
- Q4** 舞台などの最後に出てくる人を俗に「トリ」といいますが、元々は何のこと？
(1. 相撲の結び 2. 歌合戦の締め括り 3. 駅伝のアンカー 4. 寄席の真打ち)

物知りクイズ 「セプテンバー編」 当選者発表

さわやかな初秋の候、朝夕は薄冷えを覚えます。虫の音はセプテンバーソングを奏でるロマンの月発行、PAVE(第63号)の「セプテンバー編」の当選者が決定いたしました。当選者の方々に粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。

- 前回の答え
Q1 ②ウディ・アレン Q2 ①EWF
Q3 ③としよりの日 Q4 ①テニス

- 当選者
堀内亜希子(東亜道路労働組合) 千葉 龍三(NIPPO労働組合)
尾松 靖子(NIPPO労働組合) 藤崎 公子(NIPPO労働組合)
町田 順子(NIPPO労働組合) 谷本 真二(前田道路労働組合)
山村 英弘(前田道路労働組合) 高野 彰(前田道路労働組合)
久安 真樹(前田道路労働組合) 田島 和人(前田道路労働組合)
(敬称省略)

編集後記



戦争、地震、津波、etc...。遠くで起きた他人事のように考えてはいないだろうか。
もしも自分や知人が巻き込まれていたら考えると、背筋の凍る思いがするはずである。何処かで起きた出来事にも心動かされる人間になりたいと私は思う。
最近、組合活動でも似たようなことが起きているように感じる。「まかせた」「やっておいて」挙句「知らない」といった第三者的な考えに陥ってしまう事、かやの外にたってしまう事、等々。
まずは当事者になったつもりで考える。そうすれば他人行儀にはできなくなり、おのずと自分のすべき事が見えてくるのでは・・・？

フジタ道路職員組合 日暮 猛